

2023 年度 JBA 公認 B 級審査会

参加審判員 各位



今年度の B 級審査結果について（報告）

（一社）福島県バスケットボール協会

審判委員会インストラクター部会

部会長 芳賀 聡

2023 年度 JBA 公認 B 級審査会に参加された審判員の皆さん大変お疲れさまでした。

このたびは、コロナ禍が続く中にあっても挑戦していただいたことに心より敬意を表します。先日の県男女総合選手権大会兼総合スポーツ大会において審査を行いました。今年度は別添のとおり 8 名の方が合格されました。合格された方は本当におめでとうございます。

また、残念ながら不合格だった方には、ぜひ、来年度こそは合格していただきたいと考えております。

以下、今年度の審査会における審査基準、観点そして私たちインストラクターが審査を通して感じたことについて率直にお伝えします。今後の活動の参考にしてください。

まず、今年度も県大会を主審として任せることが出来る力を有しているかどうかを基本的な基準として審査を行いました。成年と高校というカテゴリーの異なるチームのゲーム、あるいはチーム間の実力差が大きいゲームなど、普段吹き慣れないゲームを担当していつも通りの力を発揮できなかった方もいると思います。どんなゲームでも私たち審判員に求められていることは不変です。当たり前のことを冷静に、確実に、そして公平に取り上げていくことが大切です。特に、B 級審判員には、すべてのカテゴリーにおいて主審として副審をカバーしながらゲームを公平公正に運営すること（ゲームコントロール）が求められます。

次に、今年度の参加者の皆さんに共通して言えることは、B リーグなどトップリーグを担当する上級審判員を映像も含めて目にする機会が増えたことにより、昨年度と比較してプレゼン、メカニクスが格段に向上したと感じました。逆に、こうした現在の審判員に求められている基本的な姿勢（走る姿や立ち姿、振舞い）、ポジショニングや視野の当て方などが十分でない方は、結果的に判定に結び付いていない、あるいは判定したものに対して説得力が欠けていると感じました。JBA の評価表においてもプレゼン、メカニクスについては、評

価値項目の柱となっておりますので、ぜひ、県内の上級審判員の姿を見て学んでいただきたいと思います。

最後に、今回の合否決定に当たりましては、判定力の有無が結果を大きく左右したと考えています。ファウルやヴァイオレーションを判定することは、ルールの理解はもちろん、起きた現象をコート上で瞬時に確認し、判断し、判定につなげていくことが求められます。プライマリとしての責任を果たしつつ、セカンダリとしても明らかなものは取り上げていく積極性が求められますが、不合格となった方の多くは一定程度の判定力は備わっていますが、ゲームの大事な場面(出だしのテンポセットも含みます。)で判定することを迷ったり、自信がなく吹きこぼしたケースがあったと感じています。間違えることを恐れて判定することに消極的になっていなかったか改めてご自身のゲームを振り返っていただきたいと思います。積極的に判定した結果、間違えることは誰にでもあります。例え失敗しても気持ちを切り替えて吹き続ける強さが B 級審判員には求められますし、私たちはそうした審判員が福島県の競技力向上のためにも必要だと考えています。

今回の結果について、皆さんにはゴールではなくスタートととらえていただきたいと思います。

ぜひ、チーム福島を支える審判員の一員として今後も一緒に活動していきましょう。

FUKUSHIMA
REFEREE